

2016年度 研究センター事業報告書

研究センター名	加藤周一現代思想研究センター
研究センター長名	鷺巣 力

I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

当研究センターの研究は、「戦後日本の知識人とコスモポリタニズムの研究」を基本的な主題とするが、この主題の下に、ふたつの研究が進められた。ひとつは研究主題にとっての基礎研究となる加藤周一研究を進めること、もうひとつはその「研究成果活用」である。具体的には、加藤周一研究会を開き、平井嘉一郎記念図書館に加藤周一文庫を開設し、加藤の遺した手稿ノートのうち戦時中に書かれた8冊の「青春ノート」のデジタルアーカイブを公開した。研究成果活用の一環として、2016年5月に加藤周一文庫開設記念講演会および土曜講座を開き、同年11月には「第一回加藤周一記念講演会」を催した。

(I) 基礎研究

(1) 加藤周一研究会

加藤周一研究会によって、加藤理解を深めるという位置づけで研究会を開いた。今年度は加藤周一文庫開設記念講演会という大きな行事があり、年度前半に研究会を開くことが困難となり、研究会の開催は5回のうち4回が年度後半の開催になった。

- ① 湯浅俊彦(立命館大学教授)「デジタルアーカイブの現状と将来」(2016年9月)
- ② ソーニャ・アンツェン(トロント大学名誉教授)「ブリティッシュコロニア時代の加藤周一から学んだこと」(2016年10月)
- ③ 岩津航(金沢大学准教授「加藤周一とフランス文学史」)「2016年12月」
- ④ 半田侑子(客員協力研究員)「加藤周一の広島体験——ブラッドナー氏の取材に即して」(2017年3月)
- ⑤ ジュリー・ブロック(客員協力研究員、京都工芸繊維大学教授)「大岡昇平『野火』を批評する加藤周一——文芸批評の核としての「間」」(2017年3月)

(2) 各自研究

各自が加藤周一研究を単独に進めるが、それらは研究業績の欄に書かれるので、ここでは触れない。

(II) 研究成果活用

(1) デジタルアーカイブ化

加藤文庫に所蔵される手稿ノート類のデジタルアーカイブ化を進め、まずは加藤が17歳から書き始め、22歳まで書き続けた8冊のノート(これを「青春ノート」と名づけた、原稿用紙2000枚相当)のデジタルアーカイブ化を図り、これを公開した(プラットフォームは ADEAC である)。公開後のアクセス数は学術関係のアーカイブとしては驚異的な数字に上った。なお『青春ノート抄録』が2018年に人文書院から刊行される予定のため、鷺巣センター長と半田協力研究員によって、編集作業を進めている。

(2) 加藤周一文庫開設記念講演会、土曜講座および第1回加藤周一記念講演会の開催

平井嘉一郎記念図書館の開設に合わせて、加藤周一文庫が創設されたが、その記念行事として、5月に、記念講演会(講師＝大江健三郎氏、ソーニャ・カトー氏、ソーニャ・アンツェン氏)とそれに関連させた土曜講座(講師＝小関素明氏、上野千鶴子氏)を開いた。また11月には第1回加藤周一記念講演会を催し、講師として樋口陽一氏を招いた(演題は「「考える」ことと「感じる」こと」)。これらの行事は全学的行事として行なわれ、幸いにも多数の一般市民の参加者を得、メディアにも多数取り上げられたことで、平井嘉一郎図書館、加藤周一文庫および加藤周一現代思想研究センターの広報に役立った。加藤周一記念講演会は、今後も一年に一回程度を継続して催したいと考える。

なお、加藤周一文庫が所蔵する「青春ノート」を主要な題材として、NHKのETV特集「加藤周一 その青春と戦争」が制作され、2016年8月に2回、2017年1月に2回と、都合4回放送された。本番組で立命館大学図書館、加藤周一文庫が紹介され、立命館大学の学生および大学院生が数名出演した。本番組を基本とした単行本が2018年に論創社から出版される予定。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2017年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
センター長	鷺巣 力	衣笠総合研究機構	招聘研究教員
運営委員	渡辺 公三	先端総合学術研究科	教授
	加國 尚志	文学部	教授
	湯浅 俊彦	文学部	教授
	西岡 亜紀	文学部	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	小関 素明	文学部	教授
	中川 成美	文学部	特任教授
	根津 朝彦	産業社会学部	准教授
	福間 良明	産業社会学部	教授
	野口 雅弘	法学部	教授
学内の若手研究者	専門研究員・研究員		
	補助研究員・リサーチアシスタント		
	学振特別研究員(PD・RPD)		
	博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生	西澤 忠志	先端総合学術研究科
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	猪原 透	文学部	授業担当講師
	住田 翔子	産業社会学部	非常勤講師
客員協力研究員	ジュリー・ブロック	京都工芸繊維大学・工芸科学研究科	教授
	彭 佳紅	帝塚山学院大学・人間科学部	教授
	桜井 均	立正大学・文学部	教授
	半田 侑子	加藤周一現代思想研究センター	客員研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	富山 仁貴	関西学院大学文学研究科	博士後期課程2回生
研究所・センター構成員 計 18 名 (うち学内の若手研究者 計 1 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2017年3月31日時点)

1. 著書

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	湯浅俊彦	デジタルが変える出版と図書館—立命館大学文学部湯浅ゼミの1年	編著	2016年4月	出版メディアバル		PP2-3,7-24,229-244,

2. 論文

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	鷺巣力	林達夫への精神的逍遥(3)	単著	2016年4月	イタリア書房 イタリア圖書54号		PP.9-15	無
2	鷺巣力	林達夫への精神的逍遥(4)	単著	2016年10月	イタリア書房、イタリア圖書55号		PP.2-9	無
3	鷺巣力	加藤周一書簡 丸山眞男宛 校註	単著	2017年3月	丸山眞男記念比較思想研究センター報告第12号		PP.31-58	無
4	中川成美	書評 フェイ・阮・クリーマン著『通り過ぎるなかで：植民期東アジア文化の場所の構図』	単著	2017年1月	日本研究 第54集		PP.137-140,	無
5	湯浅俊彦	これからの図書館の可能性を探る	単著	2016年5月	子どもの文化(48巻5号)		PP.21-25	無
6	湯浅俊彦	書評『図書館を変える！ウェブスケールディスカバリー入門』	単著	2016年7月	専門図書館(278号)		PP.58-59	無
7	湯浅俊彦	指定管理者制度が切り拓く次世代型公共図書館の可能性	単著	2017年2月	出版ニュース(2437号)		PP.4-11	無

3. 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	中川成美	Why Japanese are so "sweet" to native Taiwanese: Justice and Sympathy	2016年6月	ASS in ASIA, Kyoto 2016、同志社大学	
2	中川成美	Natsume Soseki - Japanese great novelist and a film of his novel «Kokoro»	2016年9月	第173回 JSPS-MUFJ セミナー、日仏学会館	
3	中川成美	Images of 3/11 in Women Writers in Japanese Literature	2017年3月	conference of Trinity to Fukushima and Beyond, Universite de Montreal	
4	中川成美	Communism and Sexuality :Queer desire in Japanese Proletarian Literature	2017年3月	ASS TRONTO	
5	湯浅俊彦	「出版メディアとプリント・ディスアビリティ」	2016年12月	日本出版学会 2016 年度秋季研究発表会	
6	半田侑子	「加藤周一文庫関連資料デジタルアーカイブデモンストレーション」	2016年9月	2016年度 第1回加藤周一研究会	田山健二、湯浅俊彦
7	半田侑子	「加藤周一と広島」	2017年3月	2016年度 第4回加藤周一研究会	
8	ジュリー・ブロック	大岡昇平『野火』を批評する加藤周一 一文芸批評の核としての「間」	2017年3月	加藤研究会、立命館大学	なし

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	加藤周一文庫開設記念講演会	衣笠キャンパス	2016年5月	400名	立命館大学平井嘉一郎記念図書館
2	第一回加藤周一記念講演会	衣笠キャンパス	2016年11月	150名	
3	2016年度第一回加藤周一研究会	衣笠キャンパス	2016年10月	10名	なし
4	2016年度第二回加藤周一研究会	衣笠キャンパス	2016年12月	10名	
5	2016年度第三回加藤周一研究会	衣笠キャンパス	2017年3月	10名	
6	2016年度第四回加藤周一研究会	衣笠キャンパス	2017年3月	10名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	鷺巣力	時代の岐路に加藤周一を読む	京都新聞 文化面 ソフィア欄	2016年4月1日
2	鷺巣力	加藤周一「反戦」を貫いた生涯	北海道新聞 文化面	2016年5月19日
3	鷺巣力	研究の新たな担い手を待望	聖教新聞 文化面	2016年6月22日
4	鷺巣力ほか	加藤周一 その青春と戦争	NHK-E TV特集	2016年8月、2017年1月
5	半田侑子	「加藤周一関連資料」の公開	ADEAC:デジタルアーカイブシステム (https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/2671055100)	2015年6月～2016年4月
6	半田侑子	加藤周一文庫インタビュー	聖教新聞 6月22日付文化面掲載	2016年6月
7	半田侑子	加藤周一「青春ノート」デジタルアーカイブデモンストレーション	第一回加藤周一記念講演会	2016年11月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	半田侑子	加藤周一現代思想研究センター	ソニー&シュウイチ・カトー研究奨励金	加藤周一に関する研究	2016年5月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	鷺巣力	加藤周一の思想史研究——手稿ノートを中心に	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
2	西岡亜紀	世界文学としてのアンデルセン『人魚姫』の超領域的研究と教養教育への応用モデル	基盤研究(C)	2013年4月	2018年3月	分担
3	西岡亜紀	福永武彦と加藤周一を通じた1930～40年代の若手文学者の知的ネットワークの解明	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表者

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
該当無し						

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当無し								